

宇治田原町 議会だより

No. 70 2012.2.1



《目次》

- 12月定例会・臨時議会…………… 2P
- 選挙管理委員・意見書…………… 3P
- 5議員が町政を問う（一般質問） …… 4P
- インタビュー（小西 悠佑さん） …… 9P

平成23年度 補正した予算

肺炎球菌ワクチン接種に助成 乳幼児インフルエンザワクチンにも

今回の補正の主なものは、昨年発生した豪雨により被災した公共施設・農地等の災害復旧工事の実施 1,856 万円と高齢者への肺炎球菌および、乳幼児へのインフルエンザワクチン接種助成事業として 180 万円、障がい者自立支援給付等事業費 528 万円、主要町道新設改良事業費 991 万円、公共下水道処理場修繕費 491 万円等を追加した。また、財政調整基金 1,932 万円を取り崩した。

(千円以下切捨て)

会計予算名		補正額	補正後の総額	審議結果
一般会計		3,646 万円	38 億 823 万円	可決 全員賛成
国保会計		1,364 万円	11 億 6,242 万円	可決 全員賛成
介護保険会計		99 万円	6 億 4,087 万円	可決 全員賛成
公共下水道会計		491 万円	6 億 764 万円	可決 全員賛成
水道会計	収益的	△134 万円	1 億 9,330 万円	可決 全員賛成
	資本的	1 万円	1 億 4,915 万円	

平成23年第4回定例会は、12月9日に開会し、選挙管理委員8名(補充員4名含む)の選挙、補正予算5件、一般案件1件、および意見書4件を可決した。一般質問には5人の議員が立ち、活発な議論を展開した。

臨時会

平成23年第1回臨時会は、11月21日に開かれ、人事案件1件を、第2回臨時会は、11月28日に開かれ、条例(改正)1件を、それぞれ同意、可決した。

反対

討論

(今西 久美子議員)

この間3年連続の給与引き下げ。多くの民間労働者のさらなる賃下げにもつながる。職員が意欲をもって働くことが、住民にとっての利益となる。

改正した条例

○町職員の給与を改正

人事院勧告に基づき、町職員の給与に関する条例について、改正を行うもの。改正点は、最大0.5%の引き下げ。高齢層の経過措置額を廃止するとともに、抑制されてきた若年層の昇給を回復するもの。

【可決 賛成9…反対2】

人事案件

教育委員会委員の任命



任期 平成23年11月26日～平成27年11月25日

【同意 全員賛成】

田中 典夫 氏 (荒木)

選挙管理委員会委員および
補充員の選挙

(委員)

本田 實氏 (郷之口)

大谷 友一氏 (南)

田村 正巳氏 (岩山)

谷口 昭弘氏 (荒木)

(補充員)

廣垣 眞三氏 (奥山田)

清水 善宣氏 (立川)

勝谷ミツ子氏 (禅定寺)

安井 正美氏 (湯屋谷)

任期 平成23年12月22日～

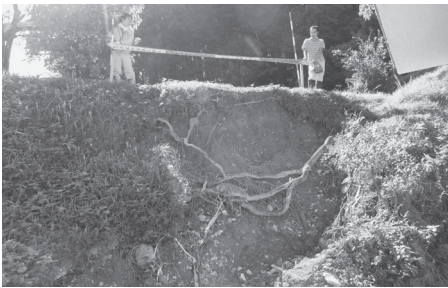
平成27年12月21日まで

その他の議案

○農地の災害復旧

昨年5月と7月に発生した豪雨により被災した農地の復旧工事を実施する。

【可決 全員賛成】



被災箇所 (立川)

意見書

○新名神高速道路の全線着工を

名神高速道路は開通から48年が経過し、老朽化だけでなく、多数の活断層上を走っているため、心配である。また慢性的な渋滞を解消する必要がある。よって、新名神高速道路を一刻も早く全線にわたり整備・開通を要望する。

反対

(安本 修 議員)

「新名神」は巨額の税金を投入して建設される可能性があり、周辺整備は地元負担となる。いま第一に考えなければならないのは、東日本大震災の復興・復旧である。

討論

賛成

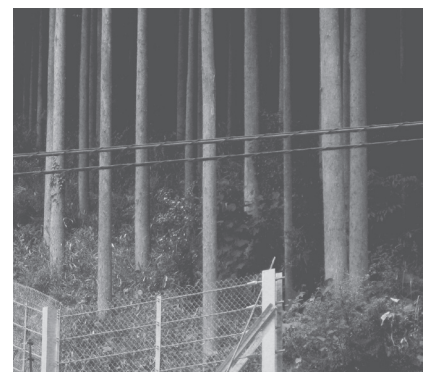
(森田 木一 議員)

新名神高速道路は、新たな国土軸として国土の均衡ある発展に欠くことのできない位置付けがされており、あらゆる面からみても早期の全線開通が求められている。

【可決 賛成9…反対2】

○林業振興の補助制度見直しと拡充を

保育間伐に対する補助制度の拡充と、継続的事業が可能となる林業振興施策及び、木材自給率向上に向けて取り組むことを求める。



【可決 全員賛成】

○障害者総合福祉法の早期制定を

障害者自らが選んだ地域で自分らしく暮らせるよう、法的整備を求める。障害者総合福祉法制定にあたり、推進会議総合福祉部会がとりまとめた「提言」を反映させること。制度を円滑に進めるための地方自治体の財源を十分確保すること。

【可決 全員賛成】

○取調べの可視化の実現を

取調べの全過程を録画(可視化)することにより、取調べの状況が検証可能となり、裁判員が容易かつ正確に判断でき、さらに冤罪を防止することができる。よって、取調べの可視化の早期実現を求める。

【可決 全員賛成】

平成24年度の予算編成は

【答】健全財政の確立で積極的な予算編成をしたい

【質問】

平成24年度予算編成の見通しは。

【答 弁(町長)】

平成22年度決算で積立えた財政調整基金1億9千万円の一部分を、住民福祉の向上を図る施策に財政投入する形で還元する。

自主・自立した健全な財政基盤の確立で積極的な予算編成を行いたい。

【質問】
主要施策は。

【答 弁(町長)】
①局地的豪雨などの自然災害に備えた防災対策の充実。

②厳しい経済雇用情勢を

克服し地域経済を元気に

する産業雇用対策の展

開。

③誰もが住みなれた地域

において健康で充実した

生活が営めるための健康

長寿対策の充実を図る。

くつわ池山の家、中央公民館のあり方は

【答】検討委員会の意見を踏まえ方向性を示す

【質問】

くつわ池山の家、中央公民館の施設の老朽化と利用者の減少をどう思っているのか。

【答 弁(町長)】

施設は昭和47年開業以来40年が経過し、老朽化による修繕維持管理費の増加等、地元運営管理が難しくなっている。検討委員会の最終会議を踏



森田木一 議員

まえ、くつわ池自然公園との一体的有効活用を考へ、地元生産森林組合と協議し、方向性を出していききたい。

【質問】

中央公民館の検討委員会設置の状況は。

【答 弁(町長)】

施設の老朽化により、維持補修、耐震化、バリアフリー費用がかかる。関係機関の代表者や有識者で組織する、検討委員会を設置し、24年度中に方向性を示していく。



中央公民館

TPPに対する町長の考え方は

【答】国民の合意を得て判断すべき

【質問】

町長のTPPに対する考え方は。

【答 弁(町長)】

環太平洋経済連携協定(TPP)については、政府は国民に十分な情報提供を行い、環境と生活

を支える農業の再生、強化に向けた対策を明らかにして、国民の合意を得て判断すべきである。地方6団体をはじめとして、地方の声を結集し、強く訴えていく必要がある。

る。



くつわ池山の家



今西久美子
議員

介護保険料の引き下げを

【答】引き上げざるを得ない

【質問】

来年度、介護保険料、基盤整備はどうなるか。

【答】 弁(健康長寿課長)

介護保険料の全国平均額は5千円を超える見込み。本町も引き上げざるを得ない。基盤整備は、事業計画等作成委員会で十分協議していただく。

【質問】

年金が引き下げられる中で、介護保険料の値上げ、月額5千円の負担は、高齢者の生活を圧迫する。基金を取り崩し、一般会計から繰り入れをしてでも引き下げを。

【答】 弁(健康長寿課長)

府の財政安定化基金を取り崩すことで、保険料値上げが抑制される。介護給付費準備基金は、今年度の介護給付費に取り崩さなければならず、保険料への活用は厳しい。

有害鳥獣被害対策の強化を

【答】 3年間で被害を半減する



捕獲されたシカ

【質問】

野猿の大型捕獲おり設置事業の進捗状況は。

【答】 弁(産業振興課長)

新たに対策協議会を立ち上げ、設置場所等について協議をしている。

【質問】

最近ではイノシシやシカが農地のみに限らず民

家近辺まで

出没し、被害も増えて

いる。住

民から被害対策を求

められたと

きに、どの

ように対応

しているの

か。担当課

職員が狩猟

免許をとり、猟友会とも

連携し、捕獲して被害を

減らしてほしい。

【答】 弁(産業振興課長)

鳥獣被害防止計画を策

定し、3年間で被害を半

減するため、特別駆除に

よる個体数を減らす取り

組みや、電気柵の設置

猟銃、おり・わな免許取

にもモニター

得の助成等を実施。住民

からの要望には、担当職

員が助言し、被害の軽減

に取り組んでいる。担当

職員のおり・わな免許の

取得は、取り組みを始め

ており、今後、複数職員

が取得し、猟友会と協力

して指導に努めていく。

【質問】

田原川沿いのフェンス

設置について、地元から

の要望も出されている。

今後、事業化に向け協議

を。

【答】 弁(産業振興課長)

今後、地元区と協議し

ていく。

放射能測定器の購入を

【答】考えていない

【質問】

東日本大震災による原発事故は、今なお放射能汚染をまき散らし、住民に不安を与え続けている。住民の不安を解消するために測定器を購入し、測定・調査を。

【答】 弁(総務課長)

府が宇治市にもモニター

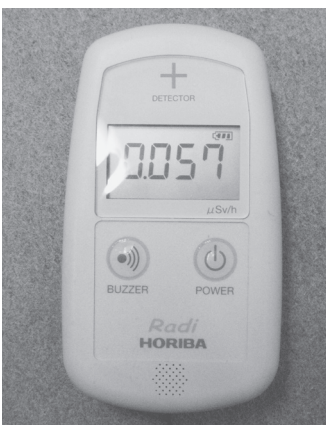
府が宇治市

にもモニター

にもモニター

にもモニター

にもモニター



放射能測定器

ングポストを増設する。

この結果を参考とし、測

定器の購入は考えていな

い。



配備された多機能消防車(禅定寺)

平成23年度 予算執行の進捗状況は

【答】 予算執行は順調だが、歳入歳出差引ゼロは厳しい

【質問】

平成23年度予算の執行の進捗と、歳入歳出差引ゼロが達成できるのか。

【答 弁(企画財政課長)】

おおむね順調に執行できている。町税収入は、昨年度に比べ約5%程度の減収になる見込み。歳

出は、扶助費が伸びており、財政目標の歳入歳出

差引収支ゼロの達成は、非常に厳しい。

平成24年度の予算編成と重点施策は

【答】 6つの重点施策に予算配分する

【質問】

山手線の全線開通は、まちづくりの基

本中の基本。このことも踏まえ、平成24年度

予算編成の概要と重点施策は。

【答 弁(町長)】

①地域の力を結集した「協働のまちづくり」。

②日々の生活に



田中 修
議員

主・自立の財政基盤を確保。以上の3つの視点を基本に、安心・安全、産

業・観光活性化、健康長寿日本一をはじめ、地域

福祉対策、環境対策、教育環境の充実といった6

つの重点施策に、重点的に予算配分を行う。

ため池の安全対策は

【答】 徹底した管理と調査を実施

【質問】

昭和28年の南山城大水

害で、ため池の決壊が被害をさらに大きくした。

ため池の点検や補修、監視の状況はどうか。また、

町内全域で、利用してい

ない池は廃池にする必要があるのでは。

【答 弁(産業振興課長)】

農業用ため池は、現在60力所ある。毎年府と町

で、点検調査を実施し、結果は管理者に対し、文



滝の上池(南・貯水量4万トン)

章で安全対策を要請している。大規模な貯水規模

のため池は、徹底した管理と調査を実施してい

く。利用されていない池は、廃池にするようお願い

している。

【質問】

犬打川流域の洪水、浸

水想定を住民に周知し、早期避難の指示など、安

全対策を十分に講じる必要がある。犬打川土砂災

害、洪水ハザードマップの作成は。

【答 弁(総務課長)】

犬打川は、河川改修が行われ、南山城水害以降、被害は発生していない。

府では、浸水想定区域図の作成予定はなく、町独

自でもハザードマップの作成は考えていない。住

民への避難等の周知は、地域防災計画の手順等により情報伝達を行う。



垣内秋弘
議員

平成24年度予算編成の 考え方と重点施策は

【答】住民目線で安心・安全なまちづくりを推進する

【質問】

平成24年度予算編成の基本的な考え方と重点

施策及び、自主財源をど

のように確保していくの

か。また、奥田町長の3

期目、最終年の仕上げの

年となるが、基本政策の

具現化に向けた思いは。

【答 弁 (町長)】

第4次まちづくり総合

計画に掲げる「心をつな

ぎ」ともに創る「茶文化」

の実現に向け①住民との

協働のまちづくり②次代

を切り拓く施策の展開③

自主・自立の財政基盤の

確立の3つを基本的な視

点として、安心・安全、

産業・観光活性化、健康

長寿日本一をはじめ、地

域福祉対策、環境対策、

教育環境の充実を重点施

策として、限られた財源

を重点的に配分してい

く。その中で①自然災害

に備えた防災対策の充実

②産業・雇用対策の展開

③健康長寿対策の充実に

重点を置き、安心・安全

なまちづくりを推進する

とともに暮らしを豊かに

する施策・事業を中心

に具現化していきたい。

自主財源の確保は、法

人町民税は減収傾向にあ

るが、新市街地や緑苑坂

テクノパークにおける企

業誘致の推進をはじめイ

ンフラ整備を進めなが

ら、地域経済の活性化に

取り組み、自主財源の維

持・確保に取り組む。

【質問】

今後の財政見通しは。

【答 弁 (町長)】

経済動向は依然として

先行き不透明な状況で、

法人町民税は減収傾向に

あり、来年度から3年間

で1億4千万円の財源不

足が見込まれるが徹底し

た財政改革を進めたい。

「新市街地の開発計画」豪雨時の対策は

【答】調整池の設置と河川改修等に対応する

【質問】

立川・贄田地区におけ

る開発整備計画が具現化

に向けて、第一期工事の

6区画を進められようと

されているが、周辺地域

住民が一番懸念している

のは豪雨時の水害発生で

ある。今回、新たに糠塚

川にも放流を検討されて

いるが、7月のゲリラ豪

雨時でも満水に近い状態

であったため、改修が必

要である。今後、糠塚川

及び贄田谷川の河川整備

計画は。

【答 弁 (建設環境課長)】

個別に調整池を設置し

一時的な降雨を貯水し、

徐々に糠塚川・贄田谷川

に放流する。河川へ新た

な負荷をかけないように

し、必要に応じて部分的

に護岸の改修や浚渫も行

い、流下能力を向上させ

るように努める。また、

糠塚川は京都府へ改修の

要望も行っている。



新市街地

救急受診ハンドブックの作成・配布の予定は

【答】来年度作成に向け前向きに取り組み



原田周一
議員

【質問】

通常外来と、夜間・休日の救急医療のレセプト点数の違いは。また、料金の増減は。

【答】 弁(健康長寿課長) 初診・再診によりレセ

プト点数の違いがある。

6歳未満の加算や休日、時間外、深夜等により点数が加算される。例えば、休日に6歳未満の子供が初診で受診した場合、

710点で、7100円

の診療費が必要。通常診療では3450円の診療

費で、3650円の差額が生じる。

【質問】

本町での救急受診ハンドブックの作成・配布の予定は。コンビニ受診の患者の減少により、医療

費の削減、医師側の負担も軽減されるが。

【答】 弁(健康長寿課長) 病气やけが等の対応や不安解消に役立てるためにも効果がある。ハンドブックは、平成24年度の作成に向けて前向きに取り組んでいく。

介護療養病床廃止に向け受け皿は

【答】 委員会で協議する

【質問】

介護療養病床を受け皿を用意せず廃止すれば、介護難民が発生する。廃止に向け、入所者に対し、どのような処遇を考えているか。また、山城北管

内(20施設)で本町の特養待機者の解消は図られるのか。

【答】 弁(健康長寿課長) 介護療養型医療施設の利用者は、現在15名。施設の相談員等に、処遇



介護難民解消にむけ

【質問】

第5期介護保険事業計画では、住民が安心できる高齢者と介護家族の負担軽減の体制及び特別養護老人ホーム、介護老人保健施設の整備と今後の重要性は。また計画への反映は。

【答】 弁(健康長寿課長) 「老老」介護、「認認」介護等、介護における課題があり、支援が必要。今後、高齢化が進行する中、在宅における介護者の介護負担の軽減が求められている。現状と課題については、介護保険事業計画等作成委員会において十分な協議をいただきたい。



元気に育て!



新成人代表

小西 悠佑 さん

今回は、「尊敬する人物は坂本龍馬」と語る新成人代表小西さんに、成人式にてインタビューしました。

Q 20歳になっての感想は。

A 大人としての自覚とけじめのある行動をしなければならぬという思いが強くなりました。

Q 大人になった町民としての思いは。

A 大人になったということで、地域に少しでも貢献できるように行動したいと思いません。

Q 尊敬する人は。

A 坂本龍馬。新しい日本を切り開いた人物なので、私も新しい未来を担っていきたいと思います。

Q 趣味は。

A ドライブと旅行です。

Q 選挙権が与えられましたが、政治に対して何かご意見は。

A 若者の選挙の投票率が低いので、私たち宇治田原町民から投票率を上げていけるよ

うに努力し、少しでも私たちの意見が反映されるようにしていきたいです。

Q 日本の未来についてどう考えていますか。

A たくさん問題があるので、不安もありますが、一人ひとりが自分のすべきことをこなせば、明るい将来が待っていると思いますし、そのような未来を願って行動していきたいです。

Q これから日本が取り組むべきと思うことはなにかありますか。

A 経済の不安定な状態が続いているので、景気を良くするために政府がいろんな政策を講じていかなければならないと考えています。



模擬投票をする新成人（成人式）



成人式



手揉み (大晦日)



縁たたき (高尾)

今号の表紙

昨年の大震災を教訓に
想いも新たに。緊張感が
伝わってくる出初式で
の行進に、必死にシャッ
ターを切りました。



編集後記

昨年は3月11日の大震
災には始まり、大きな災
害が発生しました。

私たちに問いかけたも
のも大きく、人と人が
支えあう喜び、『絆』の
大切さを改めて感じた年
でした。

今年^{みづのえたる}は壬辰年。辰の刻
は午前8時。一日の活動
の始まる時間です。

心新たに前進あれ。
ご意見、ご要望をお寄
せください。

広報編集委員 原田

